



ほっとできる「居場所」がどこにもない—そんな子ども・若者が増えています。
未来を担う子ども・若者たちのために、何ができるか考え、行動に移してみませんか？

福山市青少年センターでは次のとおり講演会を行います。(要予約)

日時：2022年（令和4年）11月21日（月）19：00～20：00

会場：まなびの館ローズコム 4階大会議室

講演テーマ：青少年と向き合うために ～地域における私たちの役割～

講師：吉川水貴さん

- ・広島県「減らそう犯罪」推進会議委員，NPO 法人青少年サポートクラブ理事長，保護司
- ・暴走族少年並びにOBの青少年を対象としたサッカーサークル，パソコン教室を主宰

※11月1日（火）から11月14日（月）の間に青少年センターまでお電話（928-1046，平日8時30分～17時15分），もしくは右上のQRコードを読み込み，申込フォームからお申込みください。



指導員の窓

福山駅等で高校生へ遅刻による声かけの件数が増えている。

昨年度と今年度の4～8月までを比較すると，今年度は昨年度の1.5倍になっている。一昨年度は4月と5月がコロナ感染により学校は休業していた。そのため，6～8月までの遅刻者数で比較すると今年度は一昨年度の約2.9倍になっている。遅刻している子に理由を聞くと，「寝過ごした」と「体調不良」が多い。一方で，ゲームセンターでの巡回では，中学生や高校生の姿は全体的に昨年度より少なくなっているように感じる（もちろん多い日もある）。

新聞によると，「福山市でも不登校児童・生徒数が昨年度より増加している。」とあった。



子どもを取り巻く環境の変化が激しい。人と「話す」ことなく用が足りることが増えている。欲しいものはインターネットで調べてボタンを押せば家に届く。お店へ行っても，買いたいものをかごに入れて無人のレジで買うことができる。人と話す必要がない。子どもたちはこれまでより人と関わる場面が減っている。学校へ行くことができない子や遅れて行く子が増えている状況を少しでも改善していくために私たちにできることは何だろう。

「子どもたちが過ごす場所をきれいに保つ努力をすること」「子どもたちにあいさつ（声かけ）を進んですること」ではないかと思う。子どもたちが外で過ごすことが心地よいと感じ，人と関わるのが今より増えていくことが大切ではないだろうか。

幸いにも，福山市の公園を巡回すると，地域の方が毎日清掃されたり，花の世話をしてくださったりしている公園がとても多い。

子どもたちが公園のベンチで友達と楽しそうに話している光景を見るとうれしくなってくる。（戸羽）



中央青少年育成員のコーナー

昨年4月、児童下校時の見守り隊新人デビュー。高齢化に伴いリタイヤする人が増えてきたからです。若手高齢者2人を誘って入隊、当面安泰。うれしいことがあります。



- ①マスクのせい「おじいちゃん」ではなく「おじちゃん」と呼んでくれる。コロナ終息後が怖い。
- ②「ただいま!」「さようなら!」など大きな声で返事。
- ③別れ際に「〇〇ちゃん〇〇時に公園でね」「うん」などのやり取りを見て、「そうだそうだ。子どもは外で走り回ることが一番」と心の中でつぶやきながら昔の自分と重ね合わせています。



気がかりなのが、全く返事もせずうつむいて帰る児童がいること。特に1年生には驚きです。「怖いおじちゃんだと思われたかな。」「学校での団体生活は?」「おうちではどうなのかな。」と色々心配（お節介かもかもしれませんが）。純粹無垢な児童の成長を願って応援したい。

中央青少年育成員になって8年目。それ以前も学区内で夜回り等を実施していました。十数名のバイク隊、小学校敷地内での飲食・花火・プール遊び等々結構多忙でした。中学校の卒業式ではカラフルでまるでファッションショー。公園やいたるところでの喫煙等々これも大変でした。

しかし、今は以前のような派手さが消え、全般的におとなしく感じられます。外見的問題よりも、スマホ等による水面下の問題が多いように思います。青少年育成員協議会の街頭補導で商業施設の巡回時、必ず数組の中学生グループがいます。声をかけると、キョトンとする生徒が多い。恐喝などの事件性は感じられず、話をすると皆素直。こちらの方が、むしろ水面下に隠れているよりはいいかなと思います。



生徒も大人同様に息抜きは必要です。コロナ禍で行動制限が厳しい中、間違った方向にそれないように導き、応援することが大切であると感じます。(池田)

青少年の安心・安全のために 本センター（本課）では、次のような事業を行っています。

【こども110番「不審者からの危険回避」出前講座】

日頃より皆様にもご協力いただいております、こども110番事業を周知するとともに、子どもの危険回避能力の向上を目的としています。不審者に遭遇する危険な場所とはどういったところか、「見えにくい」「入りやすい」をキーワードにロールプレイング（不審者発生時を想定した模擬訓練）やクイズを交えながら学習していきます。



【「地域安全マップ」づくり】

家庭、地域、学校等における「地域安全マップ」の普及を推進し、子ども自身の危険回避能力を高めるとともに、地域住民の防犯意識の向上を図るため、「地域安全マップ」づくりに必要な用具類の貸出と、必要に応じて指導者を派遣しています。

編集後記



この4月に青少年センターへ配属となりました。今まで関わる事がなかった子どもたちと接する機会がぐっと増え、「今」の子どもたちの様子を近くで見守ることができるとも新鮮な日々を送っています。未だコロナ禍の終わりは見えず、子どもたちとの関わり方も難しいところではあると思いますが、引き続き子どもたちが安心・安全に過ごせるよう見守りにご協力よろしくお願いいたします。(檀浦)

発行者 福山市青少年センター 〒720-0831 福山市草戸町五丁目12番3号（青少年・女性活躍推進課内）
電話 084-928-1046 Fax 084-927-9121 seishounen-josei@city.fukuyama.hiroshima.jp